

高等部 数学科 「君は解けるかな？」



数学は嫌い。苦手。難しい。
計算ができるようになりたい。
みんなより早く問題を解きたい。
うまく説明できるようになりたい。

数学への苦手意識を減らしたい
数学的な考え方を楽しいと感じてほしい
計算を使うと便利になることをしてほしい



① なぜ数学を勉強するのか？

単元のはじめに「なぜ数学を学習するのか」を一人ずつ考え、数学が日常生活とどのようなつながりがあるのかを考えるきっかけをつくりました。友達と考えを共有し、数学の学習への意欲を高めました。

② 情報・条件を使って考えてみよう

文章題などで、情報を整理しながら問題を解きました。まずは「自分で考える」ということに慣れることを目指しました。

- (例) 条件に合う時間割表を作ろう
- ① どの組も4時間勉強しました
 - ② どの組も国語、数学、体育、社会の4教科を勉強しました。
 - ③ 1組は3時間目に体育、3組は・・・

おすすめポイント

「正解は1つだが、答えの導き方は1つではない」
「自分の考えていることが間違いなわけではない」
この2点を常に伝え続け、問題に向き合うこと、考えることを前向きに捉えられようになりました。

③ 筋道を立てて考えてみよう

情報の整理の仕方を知り、筋道を立てながら問題を解きました。友達に説明することで、自信に繋がれるようになりました。ゲーム的要素を取り入れ、解きたいという思いを高めました。

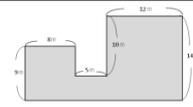
(例) 数字あてゲーム
2人1組。0～9までの数字で3桁の数字を作る。相手の数を予想。数字と桁が合っている場合は「EAT」数字は合っているが桁は合っていない場合は「BITE」と言う。

続けることで・・・
生活の中でも、間違うことを恐れず、自分なりの答えが出せるようになってきました！

④ 想像しながら考えてみよう

図形やグラフなどの情報の読み取り、推論しながら問題を解きました。自分の考えを書き表すことで、どうしたら簡単に解けるかを導き出そうとできました。

(例)
面積は？



⑤ いろいろな問題にチャレンジしてみよう

今までに学習したことを使いながら問題を解きました。繰り返し「考える」活動を続けてきたことで、すぐにはわからない問題にも、集中して取り組める時間が増えました。

子どもの反応

難しい・・・
わかった、そういうことか！
できそうな気がする
最後まで考えられた！

